



深呼吸したくなる家の効果

1. 生活臭を軽減する家



ある日
親しい友人が家に来たときの事でした。
どうも表情がさえません。どうしたのと聞くと言いつ
らそうに『結構、いい臭いがするね』と言われショッ
クでした。生活している本人は全く気付かなかったこ
とですが、うち独特の生活臭があるらしくあらため
てビックリしました。

わたしは慌てて消臭剤を買ってきて吹きましたが、一時的にごまかしているだけで根本的な解決になっ
ていない気がしてなりません。

でも、これは私の家だけではなく他の家だって同じだと思い彼女の家にお邪魔しました。



このスカッとした空気感は？消臭剤など吹いたりすれ
ばわかりますし、芳香剤など置いてありません。
同じ時期に同じぐらいの大きさ、家族構成です。
生活臭がほとんど気になりません。
なんでこんなに空気がスカッとしているのか、生活
の仕方などコツがあるのか聞いてみた。

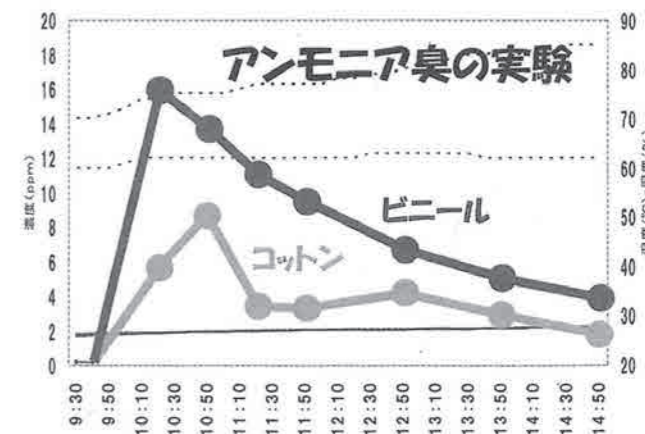
彼女から意外な答えが返ってきてビックリ。

『うちは WB HOUSE だからね！』『それって何、何、家が違うの、ちょっと教えてよー』

生活臭といえば、友達の家遊びに行ったとき、そのうち独特の臭いが鼻をつき、自分の家も匂っている
のではと心配になる方や、ペットを室内で飼われている方も臭いの心配をしている人が多いようです。

例えば、伝統家屋は自然素材の土壁を塗っていました。そこには目に見えないほどの小さな穴（微細孔）
が空いています。生活で大量に出す湿気とともに上がる臭いを上手に吸収し汗をかくように逃がしてくれ
るのです。本当に？と思われるでしょう。

そこで、アンモニアをビニールとコットンの壁紙の室内にそれぞれ入れ、臭いの抜け方を比べた結果です。
ビニールクロスを貼らない WB HOUSE は『生活臭を軽減する家』になるのです。

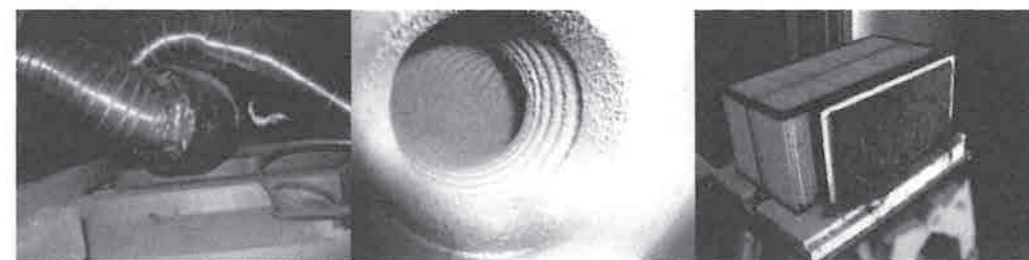


現代住宅は原価の安いビニールシートを多用しました。室内はビニールクロス、壁の中は防湿ビニールシ
ートでくるみます。WB HOUSEの壁には一切このビニールクロス、ビニールシートをしません。

赤ちゃんのおむつのように湿気を吸収排出するのは、やはり今も昔も自然素材です。
土壁に代わるのは、石膏ボードに綿や紙、そして塗り壁。また屋外側には地震に強い耐力壁にも透湿耐
力面材を貼ります。



生活臭がこもってしまう家の最終手段は換気扇や空調ですが冷暖房の浪費につながります。
そして機械で電気も使い音も気になり故障もし、3~5年もするとダクト内が大変なホコリでダメになり、
カビやダニの温床になるという二次被害のケースが非常に多くなっています。



※空調の熱交換率は精々50%で暖かくありません。また3年ほどで上記のようなダクトやフィルターとな
り管理に大変な労力やお金がかかります。

2. カビ臭をさせない家

わたしの家は子供が喘息っぽいこともあり掃除はマメにしているのですが、どうも湿気っぽいのです。ある日友人が来て一言。

『んー結構カビっぽい臭いがするね～壁の中かな～』『えっどうのこと』『うちは WB HOUSE だから壁の中もスカツとしているんだって』

「だからかな～、うちは観葉植物も根腐れしてすぐダメになるのよね』『あ～なるほど、うち結構水くれるけどもちがいいのよ、それでいて部屋もカビっぽくないし爽やかよ』

「羨まし～、なんか辛いわ」

昔ながらの伝統家屋をつくってきた地域工務店ほど自然素材の扱いをよく知っています。高温多湿の日本では、家を長持ちさせるために素材の癖をみながら風通しのよい湿気のこもらない家造りをしてきたのです。

ところが現代住宅は採算＝効率重視となり、狂いが少なく加工しやすい鉄や合板を多用します。しかし、鉄は冷えやすく結露し、合板は空気の動かない壁の中で、蒸されたり腐ったりしはじめたのです。

そこで、安易に壁の中に湿気が入らないようにと、ビニールを貼りはじめます。

30年ほど前から暖かくするにも一石二鳥と高気密高断熱を利用しました。

しかし、どこかで見たことがありますね。そうです。ビニールハウスです。



ビニールは熱も逃げませんが湿気も行き場をなくし逆効果になり室内はカビっぽく、一年中空気が通らない壁の中にも徐々に湿気がこもりカビ、ダニが繁殖し、いつもカビっぽい臭いがする家になります。



食物アレルギーもさることながら、人が一日に摂取する空気の重さは実は15～20kg となります。食べ物と水で約2kg といいますので約10倍摂取しています。空気環境の体への影響は極めて大きいのです。



湿気を吸収排出する素材は、やはり今も昔も自然素材です。

室内側には石膏ボードに綿や紙、そして塗り壁。屋外側に貼る地震に強い耐力壁にも透湿耐力面材を貼ります。赤ちゃんのおむつのように通気性の良いものを使います。

また、壁の中の空気は、春～秋は床下と屋根の換気口を開くと温度差で上昇気流が発生します。高温多湿な時季に湿気を抱えず、夏は床下の冷気で壁の湿度が上がらず快適です。このように自然素材と通気によって『カビ臭をさせない家』を造ることができます。



冬は換気口が閉じることで通気の量を絞ります。セーターを着たように空気の層ができ、たいへん暖かい家となります。WB HOUSEは換気口の開閉を『形状記憶合金』という金属で気温の変化によって自動で行います。

わたしも推薦します！



井 益雄先生

結露がほとんどなく冬は断熱性・夏は通気性にすぐれたWB HOUSEはカビやダニの発生をおさえます。すなわち、子供たちのアトピー性皮膚炎や気管支喘息になりにくい健康住宅です。もちろん我が家もWB HOUSEです。

い内科クリニック 井 益雄先生